

中小企業・支援機関のみなさまに耳よりな情報をお届けします!

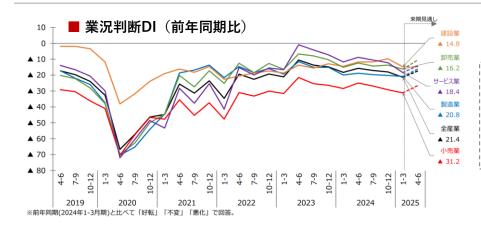
Vol.9 2025.6月

発行月: 2025年6月

1. 業況判断DIは3期連続して低下 ~第179回・中小企業景況調査(2025年1-3月期)~

中小機構は2025年3月、「第179回中小企業景況調査(2025年1-3月期)」の結果を公表しました。 中小企業の業況判断DIは、全産業で▲21.4%(前期差3.4ポイント減)となり、3期連続して低下しました。産業別に見ても、サービス業、建設業、卸売業、小売業、製造業のすべての産業で低下しています。

第179回 調査結果のポイント



<調査の概要>

調査時点:2025年3月1日時点 調査対象:全国の中小企業 調査対象企業数:18,758社 有効回答企業数:17,654 社 有効回答率:94.1%

1.中小企業の業況判断DIは、3期連続して低下

全産業の「業況判断DI(前年同期比)」は、前期(2024年10-12月期)から3.4ポイント減(▲21.4)と3期連続低下。産業別では、サービス業で6.2ポイント減(▲18.4)、建設業で5.1ポイント減(▲14.8)、卸売業で2.5ポイント減(▲16.2)、小売業で2.0ポイント減(▲31.2)、製造業で0.6ポイント減(▲20.8)と低下。

全産業の来期見通しは上昇し、産業別では建設業を除く4産業で上昇の見通し。

2.原材料・商品仕入単価DIは、高水準が続く

「原材料・商品仕入単価DI(前年同期比)」は、「売上単価・客単価DI(前年同期比)」に 比べ高水準が続いており、いずれの産業も高止まりが続いている。一方、「売上単価・客単価 DI(前年同期比)」は、小売業は▲2.0(0.7ポイント増)と改善したものの、小売業のみがマイナス圏にとどまっている。

3.製造業の一部業種で、来期への期待感が低下

製造業の業況判断DIにおける前年同期比と来期見通しの差(DIギャップ)は、今期と2024年 1-3月期を比べると縮小している。特に、輸送用機械器具、化学及び窯業・土石製品において、 来期見通しが前年同期比よりも下回っており、先行きの不透明感が表れている。

▼ 詳細はこちら



中小企業景況調查HP

https://www.smrj.go.jp/research_case/survey/index.html



<中小企業景況調査とは>中小機構では、中小企業の景況を把握し、中小企業施策立案の基礎資料を収集することを目的に、四半期に一度、全国商工会連合会、日本商工会議所及び全国中小企業団体中央会の協力を得て、産業別、地域別等に算出する景況調査を実施しています。約80%が小規模事業者で、うち約50%を個人事業主が占める日本の中小企業の実態を踏まえた、1980年から40年以上続く調査です。

2. J-Net21「中小企業支援を行う公的機関一覧(お問い合わせ窓口)」ページを公開

前述の1に記載した調査の自由回答では「売上向上のため営業に取り組まなければならない」や「受注工事が増えても人手不足が問題」、「いかに外国人向けにもできるかを課題としたい」などの課題があげられ、中小企業の悩みは多様化しています。

J-Net21では、そうした<u>中小企業が抱える経営課題に対して、支援を行っている公的機関の相談窓口を紹介する「中小企業支援を行う公的機関一覧」ページ</u>を公開しました。

外部のリソースを活用しながら、自社の課題解決にお役立てください。



中小企業支援を行う公的機関 一覧(お問い合わせ窓口)

中小企業が抱える経営課題に対して、支援を行っている公的機関の相談窓口をご紹介します。

NEW



> 福祉医療機構 🖸

> 中小企業投資育成 🖸

福祉・医療分野の総合支援窓口

中小企業への投資を行い、経営の安定化や事業成長を支援

POINT

▶ ① 12の経営課題ごとに相談 窓口を掲載

経営全般/事業開発/産学連携 /知財・技術/人材確保・採用 /人材育成/人材定着/コスト 削減/リスク対策/資金調達/ 事業承継

◆ ② クリックすると相談窓口 のページへ



◆ ③ 各公的機関の役割や特長 を記載

> 事業承継・引継ぎ支援センターで 親族内から第三者承継までカバーする公的相談窓口 中小企業支援を行う公的機関一覧

https://j-net21.smrj.go.jp/kikan contact.html



資金調達

> 日本政策余融公庫「香

> 中小企業活性化協議会 🖸

> 信用保証協会 🖸

事業承継

国民生活や企業経営の向上を支援する政策金融機関

中小企業などの債務を保証する公的機関

企業の収益力改善や事業再生などを支援